科目名称：	音楽表現研究Ⅱ	
担当者名：	上野　高裕、水上　和子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1

授業の目的・テーマ

前期を継続してピアノの授業を行なう。同時に大短連携事業「KINJOおやこひろば」での試みや、成果発表に向けて取り組む楽曲の研究を行う。ピアノ実技演習を中心に総合的に音楽表現を捉え保育現場での実践演習につなげる。

授業の達成目標・到達目標

Ⅰを継続して、ピアノの表現技能を磨き、現場での音楽を媒体とした表現力の向上と種々の表現方法や手段を身に付ける。同時に大短連携事業である「KINJOおやこひろば」での経験を生かし保育実践力の向上を目指す。最終的には成果発表会での演奏披露と楽曲研究の口頭発表を行ない成果を確認する。

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)			40	60	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ピアノ演奏技術	テンポ、リズムが正しくミス無く、暗譜をして演奏することができ	テンポ、リズムが正しくあまりミス無く、ほぼ暗譜をして演奏することができる。	テンポ、リズムが正しくあまりミス無く、楽譜を見て演奏することができる。	練習不足でミスが多く曲の途中で止まらないように努力を要する。
課題の進め方	指導案の作成や指導練習に意欲的、自発的に取り組んでいる。	指導案の作成や指導練習に丁寧に取り組んでいる。	指導案の作成や指導練習に、ほぼ取り組んでいる。	課題に取り組む努力を要する。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回　ピアノ課題の選曲と練習の確認グループ分割	課題候補曲の予習	40分
第２回　ピアノ課題の選曲と楽曲研究の準備	課題曲の練習と楽曲研究レポートの準備	60分
第３回　ピアノ課題の練習＋楽曲研究資料集め①	課題曲の練習と楽曲研究レポートの文献集め	60分
第４回　ピアノ課題の練習＋楽曲研究資料集め②	課題曲の練習と楽曲研究レポートの文献集め	60分
第５回　ピアノ課題の練習＋楽曲研究を進める①	課題曲の練習と楽曲研究レポートの文献集め	60分
第６回　ピアノ課題の練習＋楽曲研究を進める②	課題曲の練習と楽曲研究レポートの作成	60分
第７回　ピアノ課題の練習＋中間発表①	課題曲の練習と楽曲研究レポートの作成	60分
第８回　ピアノ課題の練習＋中間発表②	課題曲の練習と楽曲研究レポートの作成	60分
第９回　ピアノ課題の練習＋おやこひろばで取り組む実践練習①	課題曲の練習と実践練習のための研究	60分
第10回　ピアノ課題の練習＋おやこひろばで取り組む実践練習②	課題曲の練習と実践練習のための研究	60分
第11回　ピアノ課題の練習＋おやこひろばで取り組む実践練習③	課題曲の練習と実践練習のための研究	60分
第12回　ピアノ課題の練習＋おやこひろばでの実践演習と反省	課題曲の練習と実践練習のまとめをしておく	60分
第13回　ピアノ課題の練習＋楽曲研究のまとめ①	課題曲の練習と楽曲レポートの仕上げ①	80分
第14回　ピアノ課題曲の仕上げ＋楽曲研究のまとめ②	課題曲の練習と楽曲レポートの仕上げ②	90分
第15回　成果発表会に向けての最終調整＋楽曲研究の完成	課題曲の練習と楽曲レポートの完成	90分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までのピアノ 課題練習と楽曲研究をまとめることになる。

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

成果発表会の演奏と楽曲研究レポート及び指導案への取組みで評価　　演奏60%、楽曲研究レポート40%

課題に対してのフィードバック

楽曲研究レポートや「KINJOおやこひろば」での取り組みは、次年度以降図書館で期間限定にて閲覧できるよう配備する。

教科書・参考書

演奏楽曲の楽譜。1年次よりのすべての器楽課題曲集。